

令和4年度 第1回多文化共生施策懇話会 議事要旨

日時	令和4年12月16日(金) 18:30~20:00
場所	市役所 本館3階 会議室1
出席者	委員：高橋(会長)、阿曾、糸魚川、長山、森、ホアン 事務局：松本課長、竹田係長、吉田、土谷
傍聴者	0名

1. 豊明市の外国人人口について(資料A)

◇ 2013年からの豊明市の外国人人口と国籍別の割合を報告  
(委員意見)

- ベトナムやインドネシアは外国人受入体制の規制緩和により実習生や家族連れが増加しているため、まだまだ増加すると考えられる。
- 国際交流について豊明のイベントをフィリピンの人はあまり知らない。ぜひ周知をしてほしい。

2. 第2次多文化共生推進計画の進捗について(資料B)

◇ 昨年度までの振り返り、今年度の新規取組について報告  
(委員意見)

- 「外国人児童生徒支援のための日本語教室の開設」とあるが、「児童」は小学生を示しているのか。  
→ 担当課がどういう意図で「児童」と記入したかによる。来年以降、出してきた回答によっては担当課に確認する。
- 学習等支援事業には何人くらい参加しているのか。  
→ 日本人、外国人どちらもおり、15人くらい参加していると思われる。
- 外国語版ごみの出し方パンフレットはどのように案内しているのか、また個別でパンフレットを欲する人はいるか。  
→ 市民課にて転入時にパンフレットを渡し案内をしている。加えて外国語版ごみの出し方、配布について町内回覧も行っている。自治会長などが個別でパンフレットを取りに来ることもある。
- Facebook ページ「豊明市多言語情報」の利用状況を知りたい。  
→ フォロワーやいいね数は少しずつ増えてきている。  
フードギフト事業を例に挙げると、1回目はFacebook を使った周知は行わなかった

た結果集客は芳しくなかった。2回目にFacebookを用い周知をした結果、午前中ですぐに配布終了となった。情報ツールとしてかなり効果があると思われる。

- ◆ やさしい日本語だけでなく絵文字を使うなどの方法はどうか。
- 国や地域での絵の統一などが難しいと思われる。また住人との受け答えや聞くことを重視したいと考えている。やさしい日本語がまず庁舎内でできているかというところはまだできていないところが多いと思われる。そのためまずはやさしい日本語に力を入れる。

### 3. 電話通訳サービスの利用状況について（資料C）

◇ 課別・言語別利用件数を報告。

（委員意見）

- ◆ 転入時に3者間通話による通訳サービスを行っていることは周知しているか。
- 広報、キーパーソンには伝えている。転入時に通訳サービスについて分かるカードなどが渡せると望ましいとは考えている。
- ◆ 3者間通話通訳サービスの利用時間は、また利用するにあたり待ち時間は発生するか。
- 利用時間は基本的に8時30分から17時15分までである。また要望する言語の通訳者が他の電話対応中であれば、後程電話をかけ直してもらうなど待ち時間が発生することがある。

### 4. 外国人SOSカードの作成について（資料D）

◇ 事務局が作成した案を提示した。昨年度いただいた意見もとに、カードの案を作成。意見をいただきたい。

（委員意見）

【カードに関する意見】

- ◆ 110番、119番の文字はもっと大きくて良い。
- ◆ 「暖かい」はいらぬと思われる。
- ◆ 外国人専用ダイヤルが24時間つながると勘違いしてしまう。
- ◆ 「緊急の時」の横にある矢印は専用ダイヤルが通常時で、緊急の時は110番、119番にかければ通訳してくれると捉えられる。
- ◆ カードで作成できると良い。加えてスマートフォンなどにアプリケーションで見られるようになるとより良いと思われる。

- ◆ 日本人に「日本語ができません」を急に見せると身構えてしまうと思われる。
- ◆ どういう時に伝えたいのか、緊急の時しか使えないように思われる。通訳サービスは日常でも使っているのであれば、緊急時用のカードと通常時用のカードを作るなどするのも良いと思われる。

→案の作成をし直し、再度意見をいただきたいと思う。

#### 5. 日本語ボランティア養成講座の実施について（資料E）

- ◇ 事業の実績を報告。例年の養成講座の他に特別講座を行ったことを報告。

#### 6. 委員継続確認について（資料F）

- ◇ 委員の任期を報告。各団体への推薦依頼や公募を行うことを伝えた。

次回懇話会は令和5年3月頃、場所は豊明市共生交流プラザを予定  
 （日程が近くなったら調整）